

令和6年度小学生ハンドボール教室報告

KHA LS委員会 常務理事：高橋喜春 理事：稲葉由香、志賀美里 Ob:大石進

1 目的

神奈川県内小学生チームの普及強化と指導者育成をねらいとして、ハンドボール教室を開催する。次代を担うジュニア世代がプロのハンドボールコーチによる指導を受けることで、ハンドボールの楽しさや魅力を味わうとともに、ハンドボーラーとしての技術面・精神面でのより高いスキル・意識を身に付けることを期待する。また、教室参加者相互の交流を深める機会とする。

2 日時 令和6年12月14日(土) 14:00~16:30

3 会場 桐蔭横浜大学体育館 横浜市青葉区鉄町1614

4 主催 神奈川県ハンドボール協会

5 協力 桐蔭横浜大学女子ハンドボール部

6 講師 銘苺 淳(メカル アツシ)氏

〈講師紹介〉1985年生まれ 沖縄県出身

港川中学、那覇西高校、筑波大学、トヨタ車体を経て、2012シーズンより活動場所をハンガリーに移し、2014~15シーズンには、20試合で120得点して得点王となる。2016年にはスペインへ移籍。日本代表選手として、2016アジア選手権、2017フランスの世界選手権に出場。帰国後、2017~20シーズンは北陸電力に所属(2019~20は選手兼コーチ)。2021シーズンのオムロンのコーチを経て、2022年4月より、関西学院大学男子ハンドボール部ヘッドコーチ、京都先端科学大学講師に就任。2023年4月よりアルパモス大阪監督に就任。

7 参加チーム・選手・コーチ

港北 B. REX	(男子7・女子1・コーチ1 : 計9)	
相模原ハンドボールクラブ	(男子7・女子4・コーチ2 : 計13)	
竹の子会	(男子8・女子7・コーチ3 : 計18)	
川崎有馬ハンドボールクラブ	(男子11・女子6・コーチ1 : 計18)	
生田 HC ボンバーズ	(男子10・女子9・コーチ4 : 計23)	合計 81名

8 概要

県内5チーム、70名の小学生が集まり、ハンドボール教室が行われた。開講式では、講師の銘苺氏の紹介に続いて、会場を提供していただいた桐蔭横浜大学の岡本大先生とアシスタントをしてくれる女子ハンドボール部の紹介があった。

その後、実技に移り、最初のアイスブレイキング、2人1組や3人1組でジャンケンしてランやパスなどにより、今回参加5チームのメンバーがお互いの顔と名前を知り、仲良くなることができた。特に一重円で「言うこと一緒・やること一緒(反対)ゲーム」は、素早く理解し動くというハンドボールに必要な能力を身につけることができ、子どもたちは、一生懸命そして笑顔で取り組んでいた。

次に、ボールを扱うパス・キャッチの場面では、足運びの大切さや腕の使い方などを知ることができた。4か所に分かれてのシュート練習では、ゴールを守るGKと勝負するという意識を持つことが強調された。子どもたちは、ただ何となくシュートを打つのではなく、打点、クイックや溜め、スピード、コントロールなど色々考えてシュートしていた。

ハーフコートを使っての、3人1組でジャンケンからオフェンスとディフェンスに分かれての攻防では、1対2なのか、2対1なのか瞬時に判断して、ボールを奪いシュートまで持っていき、あるいは守り切る練習をした。最後は、大人チーム(銘苺氏・学生・コーチ)対小学生チーム(計7チーム)でゲームを行った。チーム分けは、いつもの自分のチームではなく、色々なメンバーの混成チームであり、コミュニケーションを取ることが求められた。まとめに、大人チーム対子ども全員がコートに入り、ボールを奪い合う球技の原点とも言えるゲームを体験して終了した。銘苺氏は、常のバイタリティに溢れ、時に大きな声とアクションで子どもたちを鼓舞していた。最後に写真撮影、閉講式を行った。



